

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.47

開催地：八代市宮地校区

平成19年11月6日(火)、八代市宮地校区(会場：宮地公民館)において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約40名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	37名
市外	4名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水流量は住民討論集会の時と数字が変わっているのではないか。科学的根拠に乏しいのではないかと懸念を持っている。
- ・川内川の降雨を球磨川にあてはめるのはいかなものか。降雨は地形など様々な要因がある。
- ・報告会では、「川辺川ダム」という言葉だけは封印しながら、ダム以外の具体的な洪水調節方法については「技術的」「社会的」「環境的」に無理という説明が各地で繰り返されている。
- ・報告会で明らかにした事実・流域住民の意思を国(国土交通省本省)に伝え、基本高水流量の設定に、報告会に出された事実・意見を反映させ、公平に審議する機会を作って欲しい。
- ・小委員会資料の中で提示している浸水被害戸数のうち、旧八代市では何戸浸水被害にあったのか教えて欲しい。(資料では「八代市」の戸数しか書いていない。)
- ・宝暦5年以来、八代の球磨川の堤防は越水したことも破堤したこともない。球磨川の影響による浸水被害はゼロ。八代が浸かったのは、水無川の堤防が切れたときだけである。

【球磨川の治水対策について】

- ・萩原堤防の深掘れは遙拝堰の設計に問題があるのではないか。
- ・河川の中に州が出来ている関係で萩原堤防が深掘れしているのではないか。
- ・水無川が砂利で埋まってしまい、昔のような流れが見えない。雨が降るたびに冷や冷やして見に行っている。水無川はいつ浚渫するのか。また、水無川上流に砂防えん堤を造るという話があるが、まだ進んでいない。
- ・水無川では大変な問題が起きている。県は、水無川をどうしたらいいか話し合う機会を是非持つて欲しい。砂利は毎年撤去してもまたすぐ溜まる。この問題を解決するために前向きに検討して欲しい。これまでも話し合いはしてきたが、進んでいない。
- ・荒瀬ダムと瀬戸石ダムについて、目的は発電ということだが、大雨が降って水は満杯の状態にあり、ダムがもたない(壊れてしまう)から、ゲートを開けて下流に水が流れてくる。水害はダムによる人災ではなかったのか。
- ・萩原堤防の危険性の歴史・資料というのは、ダムを造りたい国交省の捏造であったことが明らかになった。
- ・河川敷公園の上流側の砂利を削ったら、(萩原側の)水衝部が緩和されるのではないか。取った砂利を遙拝堰の下流におけば、激減してしまった鮎の良い産卵場にもなる。砂利を取り除くことの出来ない理由に「民有地なので、地権者の問題がある」と説明をしているが、氾濫原として犠牲になってきた渡町を安全にするために、旧建設省が街ぐるみの強制移転を行ったのは大昔の話ではない。国交省の説明は、ダム以外の治水方法を採用する意志がない、国交省の姿勢の表れであるとしか思えない。
- ・昭和40年は、当時の萩原堤防で7,800m³/sの出水があり、堤防天端近くまで水がきた。翌年よりの治水工事により、八代の住民は洪水への不安を払拭されたが、川辺川ダムの費用対効果を保つために、萩原堤防の危険性を国交省が強調し始めた結果、「日本一危険な萩原堤防」となったが、平成17年には今の萩原堤防で6,700m³/s、平成18年は7,100m³/sの出水があったが、堤防道路天端までは4.0mの余裕を持ってながれ、国交省が主張する6,900m³/sしか流せないということも否定された。

- ・八代の治水に有効で、かつ住民が望んでいるのは、ダムではなくて、細やかな河川改修や堤防の手当てである。
- ・住民の多数がダムによらない治水を望んでいる。
- ・すぐ取り掛かれる治水を、国交省が怠り、川辺川ダムのみという選択肢を押し付けることへの、住民の不信・怒りが募っている。

【球磨川の環境について】

- ・昔は水無川上流までシラスが上ってきた。現在は水無川に汚れた水が入ってしまったと思う。川をきれいにするために魚を入れてもらいたい。
- ・花火競技大会の時に、萩原側に座っていた住民が堤防沿いの木を切ってくれとよく言っていた。花火には全国から人がくるので、眺めをよくするために木を切れないか。昔は木が無かった場所に、自然と木が生えたのだから切っても問題ないのではないか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

